

令和7年度重要施策並びに  
事務概要について

令和7年6月  
兵庫県環境部

# 目 次

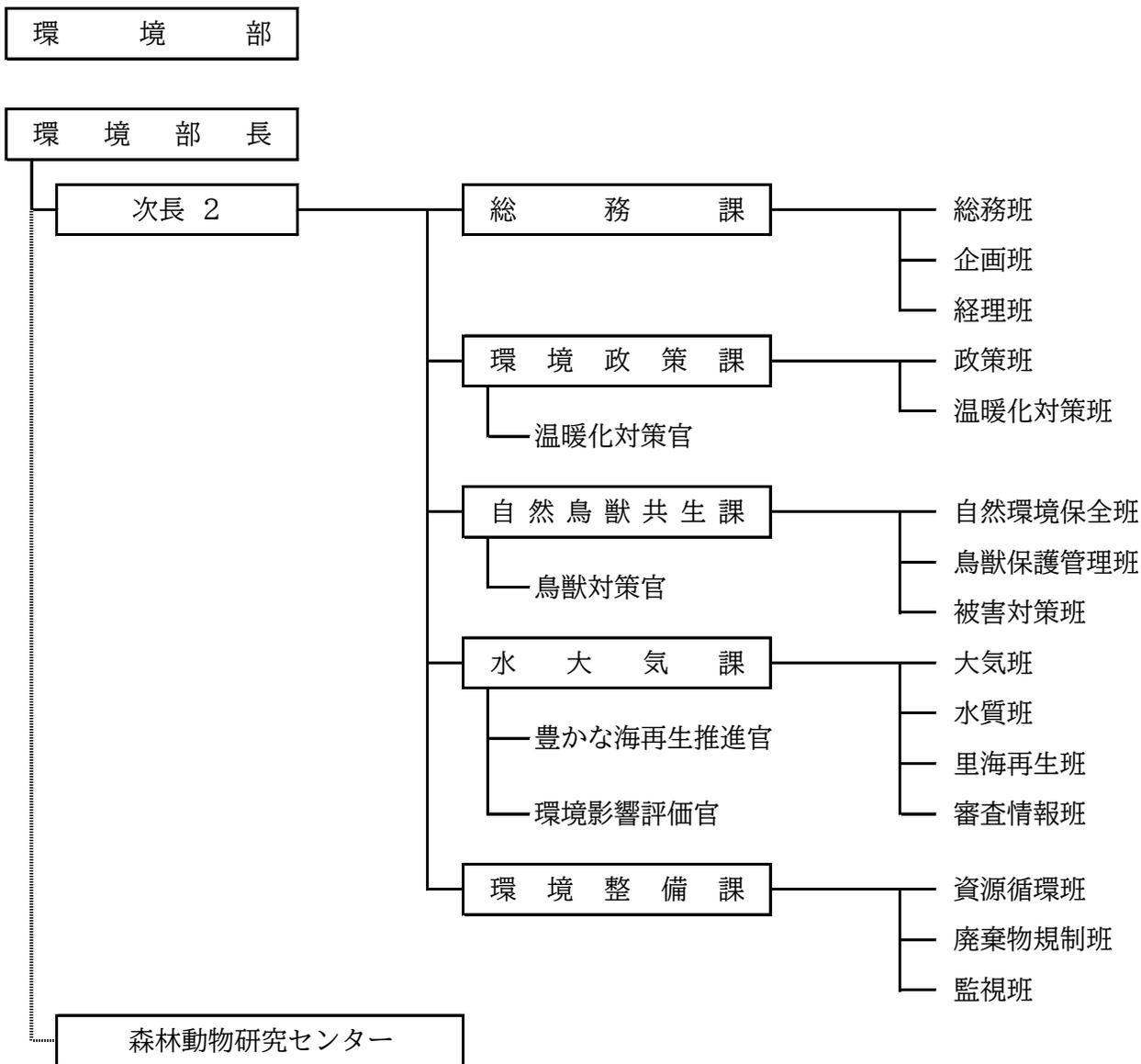
1	組織図	1
2	職員数	2
3	令和6年度及び令和7年度予算額一覧表	3
4	令和7年度重要施策	4

## 参考資料

	分掌事務	3 2
	幹部職員名簿	4 4

1 組織図

(令和7年4月1日現在)



## 2 職員数

(令和7年4月1日現在)

所属名	職員数	職員数の内訳		
		事務職	技術職	技能労務職
総務課	14	11	2	1
環境政策課	18	13	5	
自然鳥獣共生課	18	7	11	
水大気課	29	9	20	
環境整備課	16	6	10	
本庁計	95	46	48	1
森林動物研究センター	8	2	6	
地方機関計	8	2	6	0
ひょうご環境創造協会	15	4	11	
地球環境戦略研究機関関西研究センター	1	1		
地球環境戦略研究機関APNセンター	2	1	1	
国際エメックスセンター	2	2		
大阪湾広域臨海環境整備センター	10	2	8	
派遣団体計	30	10	20	0
環境部計	133	58	74	1
神戸県民センター県民躍動室(県民担当)	1	1		
阪神北県民局 県民躍動室 環境課	9	3	6	
東播磨県民局 県民躍動室 環境課	7	1	6	
北播磨県民局 県民躍動室 環境課	7	3	4	
西播磨県民局 県民躍動室 環境課	9	3	6	
但馬県民局 県民躍動室 環境課	5	2	3	
丹波県民局 県民躍動室 環境課	6	2	4	
淡路県民局 県民躍動室 環境課	6	3	3	
県民局・県民センター計	50	18	32	0
総計	183	76	106	1

※再任用短時間勤務職員を除く。

## 3 当初予算額一覧表

(一般会計)

(単位:千円)

課 名	令和6年度 当初予算	令和7年度 当初予算	財 源 内 訳			
			国庫支出金	特定財源	起 債	一 般
総 務 課	62,104	44,931	0	3,805	0	41,126
環 境 政 策 課	1,224,850	1,189,764	560,744	413,436	0	215,584
自 然 鳥 獣 共 生 課	1,433,504	1,425,588	929,804	222,584	0	273,200
水 大 気 課	806,243	617,673	54,044	261,455	0	302,174
環 境 整 備 課	162,064	179,002	101,444	35,759	0	41,799
小 計	3,688,765	3,456,958	1,646,036	937,039	0	873,883
人 件 費	1,355,853	1,405,457	0	0	0	1,405,457
合 計	5,044,618	4,862,415	1,646,036	937,039	0	2,279,340

# 第6次兵庫県環境基本計画の推進

- 2050年カーボンニュートラル実現に向けた地球温暖化対策の強化、生物多様性に関する世界目標を踏まえた新たな動き、資源循環社会への本格移行など、本県の環境を取り巻く状況、社会情勢の変化などに的確に対応するため策定  
(計画期間：2025～2030年度)

## 基本理念

将来にわたる環境・経済・社会の持続可能性を確保し、**県民のウェルビーイング（県民の幸福）**を実現

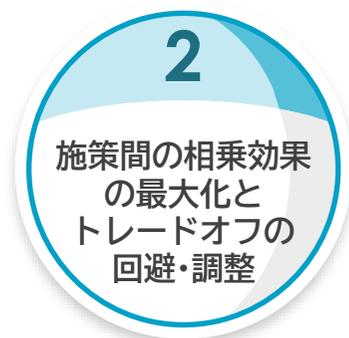
## 将来につなぐ兵庫の自然の恵み ～県民と共に創る環境価値～

## 施策展開の視点

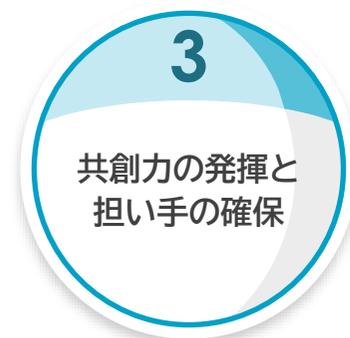
本県の環境を取り巻く現状や兵庫らしい取組、時代潮流の変化を踏まえ、以下の**3つの視点**で施策を展開



環境面の課題解決にとどまることなく、経済全体の高付加価値化や地域活性化にも貢献するような環境価値を創出し、地域で共有



各施策の相乗効果を最大化するとともに、トレードオフを総合的観点から回避・調整



多様な主体のイコールパートナーシップによる連携・協働を推進するとともに、次世代の担い手を育成

## 施策体系

- ・ 脱炭素・自然共生・資源循環を基軸とし、環境価値を創出
- ・ 環境施策等の統合的な展開によって、健全・快適な生活環境を確保
- ・ 共創力を発揮するとともに、その担い手を確保

### 脱炭素

- 温室効果ガス排出量削減
- 再エネ導入拡大
- 環境共生のまちづくり
- 森林・海洋機能の強化

### 自然共生

- ネイチャーポジティブの実現
- 野生鳥獣の適正な保護管理
- 里地里山・里海の保全・再生

### 資源循環

- 資源循環の推進
- 暮らしに根ざした資源循環
- 廃棄物の適正処理

### 健全・快適

- 健全で快適な生活環境
- 化学物質等への対策

### 共創力

- 多様な主体のイコールパートナーシップ
- 次世代の人材育成

2030年度  
目標

温室効果ガス排出量削減率  
(2013年度比) ▲48%

県土(陸域)の自然環境保全割合  
30%

一般廃棄物排出量 1,617千t  
産業廃棄物排出量 21,495千t

大気・水質・騒音の環境基準達成  
100%

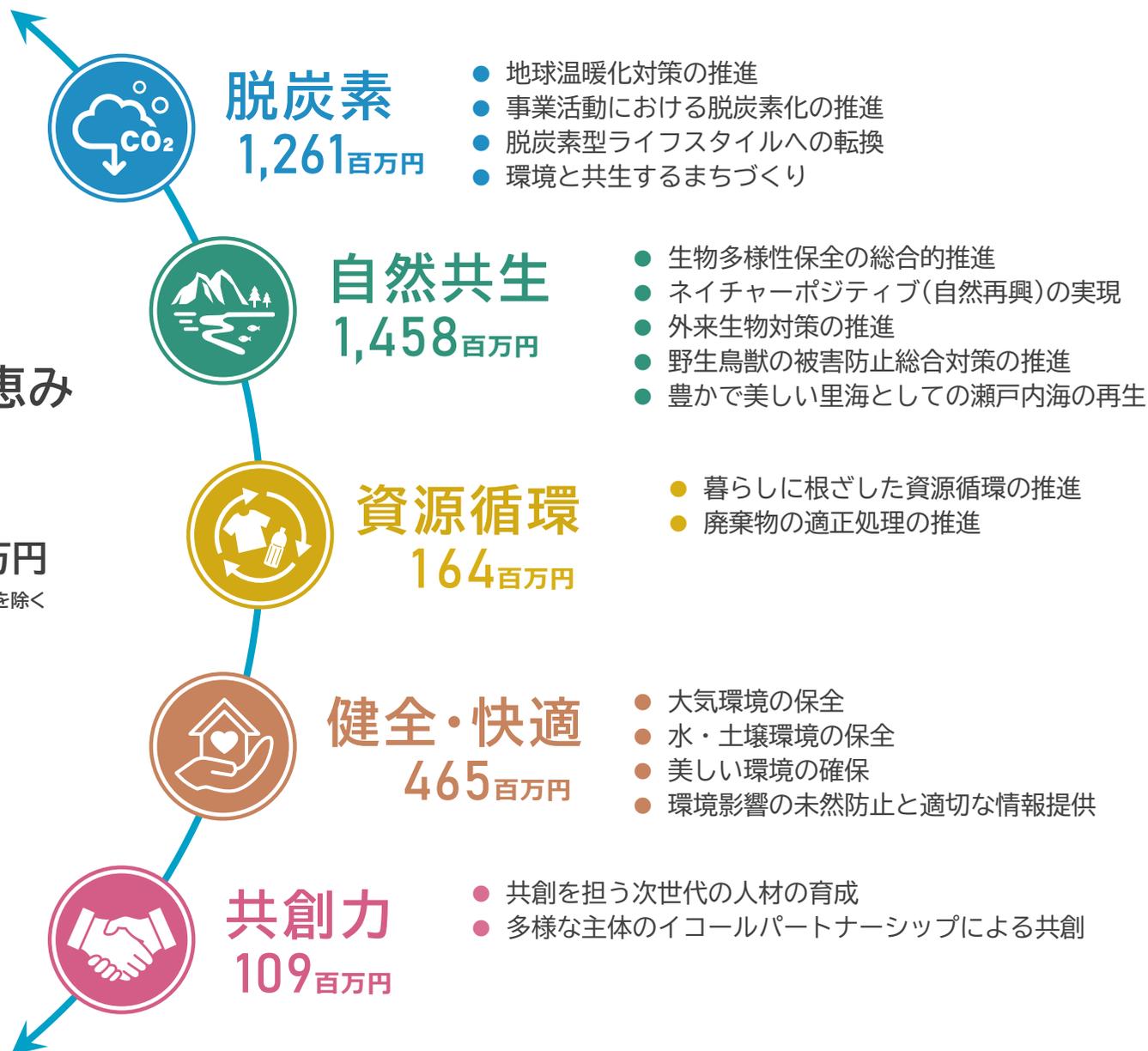
主な社会教育施設における環境  
学習プログラム参加者数 13万人

# 2025 (令和7) 年度施策体系及び当初予算額

- 令和7年度の環境施策は、「第6次兵庫県環境基本計画」に基づき、環境の保全と創造に関する施策を総合的に推進します。また、2050年カーボンニュートラルをはじめとする課題に対応するため、脱炭素・自然共生・資源循環を基軸とし、環境価値の創出を目指します。

将来につなぐ兵庫の自然の恵み  
～県民と共に創る環境価値～

当初予算額 **3,457** 百万円  
※人件費等を除く



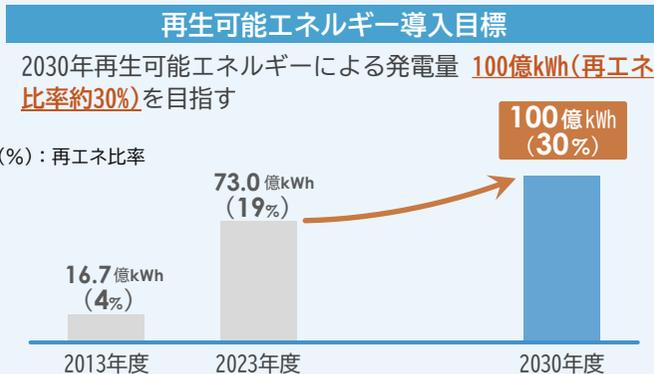
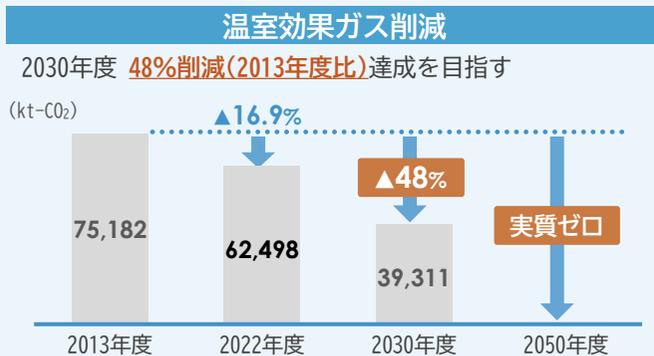


### 兵庫県地球温暖化対策推進計画の推進

2050年カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)の実現に向け、地球温暖化対策推進計画(R4.3改定)において、2030年度の温室効果ガス削減目標を2013年度比▲48%、2030年度再生可能エネルギー導入目標を100億kWh(再エネ比率約30%)としています。

これら目標達成に向けて、各分野から排出される温室効果ガスの削減や再生可能エネルギー導入の拡大を県民・事業者・団体等あらゆる主体が一体となって、進めていきます。

地球温暖化対策推進計画 (R4年3月改定)



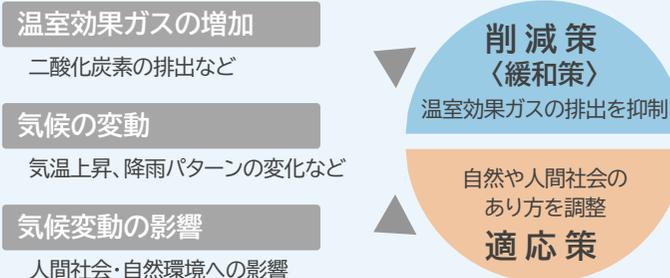
### 2050年カーボンニュートラルロードマップの作成

2050年カーボンニュートラル実現へ向け、本県が取り得る複数の道筋を検討し、必要なアクションを整理したロードマップを作成し、県民・事業者等の行動変容につなげます。

### 気候変動への適応策の推進

温室効果ガスの排出を抑制する「削減策(緩和策)」を基本としながら、気候変動の影響による被害の回避・軽減するため、県民や事業者向けにセミナー等の開催やホームページ等を活用した気候変動情報の提供など気候変動に関する「適応策」の取組を一体的に推進します。

#### 気候変動と削減策(緩和策)・適応策の関係



民間事業者向け気候変動適応セミナーの開催(神戸市)



暑さ対策ポータルサイトを活用した情報発信





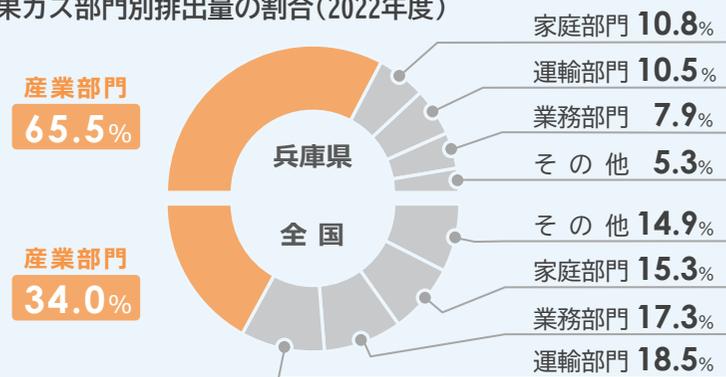
### 段階に応じた中小事業者への支援

県内の温室効果ガス(GHG)排出量の約7割が産業・業務部門からの排出であり、近年、サプライチェーン全体での脱炭素を目指す動きも活発化していることから、資金や人的資源に乏しい中小事業者に対して段階に応じた支援を実施します。

#### 中小事業者におけるカーボンニュートラルの取組ステップ

-  **カーボンニュートラルを知る**
  - セミナー等による普及啓発
-  **温室効果ガス排出量を把握する**
  - 削減計画の実践指導やGHG排出量算定等の支援
-  **温室効果ガス削減に取り組む**
  - 再エネ等の導入支援による脱炭素化の促進
-  **情報発信**
  - 取組事業者の拡大

#### 温室効果ガス部門別排出量の割合(2022年度)



### ひょうご脱炭素経営スクールの開校

企業の自主的な脱炭素化への取組を促進するため、脱炭素経営のポイントや省エネ、再エネ導入の実践的手法について学び、行動に繋げる「ひょうご脱炭素経営スクール」を県内中小事業者向けに開校(神戸市と共催)し、サプライチェーンを支える県内中小事業者等の脱炭素経営の一步を支援します。



脱炭素経営スクールの開校(神戸市)

### 脱炭素社会の推進に関する包括連携協定の取組み

三井住友銀行、神戸大学、地球環境戦略研究機関(IGES)、神戸新聞社及び兵庫県の五者による「脱炭素社会の推進に関する包括連携協定」(R5.2締結)に基づき、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素経営セミナーなどの広報・普及啓発等を連携して取り組みます。



脱炭素社会の推進に関する包括連携協定シンポジウム(神戸市)

カーボンニュートラルを知る





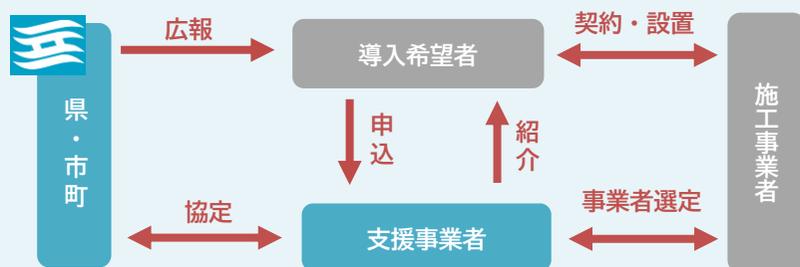
温室効果ガス削減に取り組む

情報発信

### 共同調達による太陽光発電の導入支援

事業者の再エネ導入を推進するため、支援事業者と協定を締結し、一括発注のスケールメリットを活かして、導入コストを低減できる共同調達方式での再生可能エネルギー導入を市町とともに実施します。

#### 事業スキーム



#### 選べる導入手法



#### ポイント

- ・スケールメリットを活かした価格低減
- ・審査を通過した事業者からの信頼できる提案
- ・事業者提案の比較・検討をサポート
- ・兵庫県・県内市町と連携した取組による安心感

### “ひょうご版再エネ100”の推進

((公財)ひょうご環境創造協会)

事業活動に必要な電力の100%を再生可能エネルギーで調達する「RE100」宣言企業の拡大を図るとともに、事業者の再エネ導入事例をホームページで発信します。

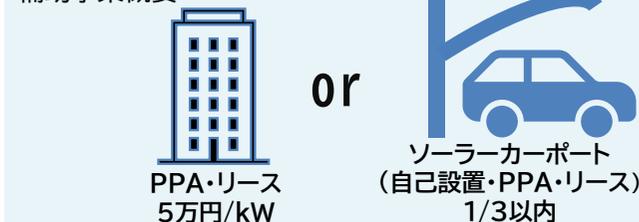
### 中小事業者への再エネ設備等の導入支援

#### ● 再エネ・省エネ設備等の導入支援

中小事業者の自家消費型非住宅用太陽光発電設備の導入補助として、PPA・リース方式による導入やソーラーカーポート導入を支援します(※)。また、再エネ・省エネ設備設置や環境保全、公害防止を目的とした低利融資を実施します。

※脱炭素先行地域・重点対策加速化事業に採択されている市町は対象外

#### 補助事業概要



#### ● 再エネ導入等に関する相談

((公財)ひょうご環境創造協会)

((公財)ひょうご環境創造協会と連携し、再エネに関する総合相談窓口として、再生可能エネルギー相談支援センターによる各種相談や相談内容に応じたコンサルタントの派遣等を行います。



イベントでの啓発・相談の様子



事業者の再エネ導入に係る取組事例や取組計画をウェブサイトで紹介



### 脱炭素型ライフスタイルの普及啓発

民間事業者や各市町と連携し、県民の脱炭素型消費への行動変容、ライフスタイルの転換を後押しするトータルな啓発活動「ひょうご1.5℃ライフスタイル」を展開し、県民の様々な脱炭素につながる行動を普及啓発します。



様々な角度から脱炭素ライフスタイルへの理解を深め、行動変容を促進

#### 脱炭素行動の促進貢献量の可視化

- ▶ **アプリ連携による脱炭素貢献量(効果)の可視化**  
脱炭素行動促進アプリと連携し、楽しみながら自らの脱炭素行動を記録、その効果を可視化
- ▶ **ポータルサイトでの情報発信**  
我慢しない脱炭素型ライフスタイルの紹介や、脱炭素行動によるCO<sub>2</sub>削減量をダッシュボードで公開



#### 身近な商品を通じた普及啓発

- ▶ **県産脱炭素製品の普及啓発イベント**  
脱炭素商品の認知拡大を図るイベントを小売店舗・施設との連携で開催
- ▶ **ひょうご1.5℃ライフスタイルワークショップ**  
脱炭素について親子で楽しく学び、考える機会を創出  
無関心層の興味喚起に重点を置いたコンテンツを企画

### 家庭への再エネ・省エネ導入の支援

家庭への自家消費型住宅用太陽光発電設備及び蓄電池の導入を市町を介して支援します。

※脱炭素先行地域・重点対策加速化事業に採択されている市町は対象外

太陽光発電  
設備  
7万円/kW

+

蓄電池  
1/3

#### うちエコ診断の推進

(公財)ひょうご環境創造協会と連携し、CO<sub>2</sub>排出量を見える化し、効果的な削減対策を提案するうちエコ診断(無料)の実施を推進します。



詳しくはこちら

### 地球温暖化防止活動推進員による普及啓発

家庭からのCO<sub>2</sub>排出量削減を図るため、地域イベントへの出展や小学校等への出前教室など、地域での実践的なグループ活動による県民等への普及啓発等に取り組む地球温暖化防止活動推進員の活動を支援します。

また、R3.9に発足した学生推進員による学生ならではの視点で、幅広い世代への啓発を推進します。



学生推進員によるイベントでのブース出展

### 地域循環共生圏の創出 ~再生可能エネルギーの導入拡大~

地域資源を活用した再エネの導入を図り、エネルギー費用を域外に流出させることなく、持続可能な形で資源が域内で循環する「エネルギーの地産地消モデル」として「地域循環共生圏」を創出します。

#### 北摂里山地域循環共生圏の取組

宝塚市西谷地区の県有環境林を伐採し、里山林の再生を図るとともに、木質バイオマスをボイラー燃料として活用する実証事業を実施



### 里山等木質バイオマス利活用に向けた支援

地域循環共生圏の構築を県内各地で進めるため、事業者等の関係者からなるプラットフォームを構築するとともに、木質バイオマスボイラーの導入補助を行いバイオマスの利活用を推進します。

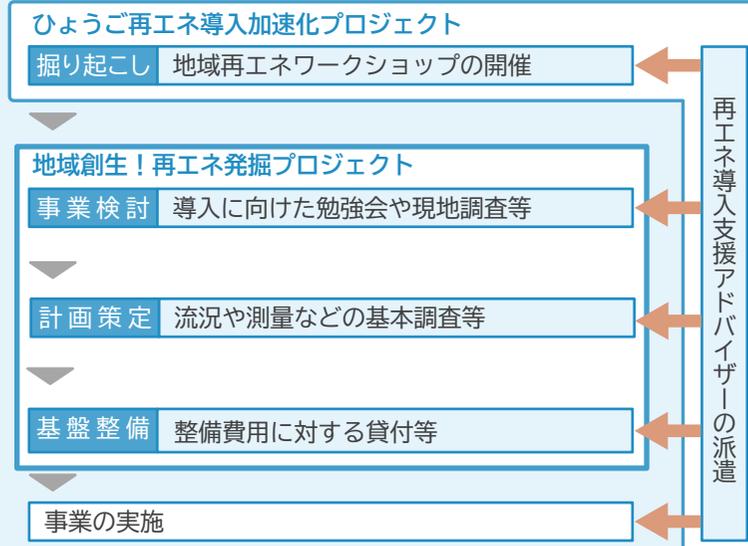


木質バイオマスボイラー (神戸市北区)

### 地域資源を活用した再エネ導入の支援

- ひょうご再エネ導入加速化プロジェクト  
地域再エネワークショップを開催し、再エネ導入の必要性の理解を促進するとともに、再エネ導入支援アドバイザーの派遣により、事業実施までの地元調整やシステム設計等を支援します。
- 地域創生！再エネ発掘プロジェクト  
地域活性化にも大きな期待が持てる地域資源を活かした再エネの導入を検討する地域団体等の事業立ち上げ時の取組等を支援します。
- 自立・分散型エネルギーシステム構築支援  
(公財)ひょうご環境創造協会  
先導モデルとなる再エネ設備の整備費用の一部を補助します。

#### 地域資源を活用した再エネ導入支援スキーム





### 次世代自動車の普及促進

#### ● 次世代自動車の普及

次世代自動車の普及を促進するため、電気自動車(EV)に加えてEVバス、EVトラック及びEVバイクに対する導入補助や公用車への導入を進めます。

さらに、兵庫水素社会推進構想(H31.3策定)に掲げる水素社会の実現に向けて、燃料電池自動車(FCV)や燃料電池商用車(FCバス、FCTトラック及びFCタクシー)に対する導入補助や水素燃料費価格差支援により、水素モビリティの普及を図ります。



燃料電池トラック(FCTトラック)

#### ● 水素ステーションの導入促進

水素モビリティの普及に欠かせない水素ステーションの整備に向け、地域内の課題・需要調査、候補地の検討を行うとともに、関係者への働きかけや整備費に対する支援を行います。

また、大型FCトラックへの水素充填が可能な大規模水素ステーションの整備費支援を新たに行います。



エア・リキード神戸空港前水素ステーション(R5.5開所)



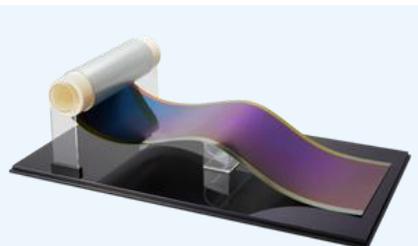
県内の水素ステーション

### ペロブスカイト太陽電池を活用した営農型太陽光発電の実証

次世代型太陽光発電としての導入が期待されるペロブスカイト太陽電池を活用した小規模な営農型太陽光発電(ソーラーシェアリング)による実証・情報発信を行い、実用化に向けた機運醸成を図ります。

#### フィルム型ペロブスカイト太陽電池

- 材料の塗布や印刷で作ることができ、大量生産・低コスト化が可能
- 折り曲げやゆがみに強く、フィルムに塗ることで軽量化が可能
- 日本発の技術で、主原料のヨウ素は世界産出量の約30%が国内産



出典：積水化学工業株式会社

ペロブスカイト太陽電池を活用した営農型太陽光発電設備のイメージ



出典：積水化学工業株式会社・株式会社TERRA

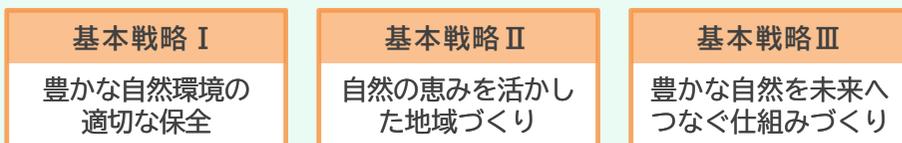


### 生物多様性ひょうご戦略の推進

兵庫の豊かな生態系を未来に引き継ぐため、生物多様性を守り、持続可能な利用に取り組む行動指針である「生物多様性ひょうご戦略」(R7.3改定)に基づき、一人ひとりが生物多様性について正しく理解し、多様な主体による自発的な行動につなげていきます。

#### 戦略の方向性

3つの基本戦略ごとに国内外の動向に基づく新たな視点や環境課題に応じた行動目標(9項目)を立てて各種施策に取り組む



#### 4つの危機

- ・ 開発など人間の活動による危機
- ・ 自然に対する働きかけの縮小による危機
- ・ 人間の活動によって持ち込まれたものによる危機
- ・ 気候変動など地球環境の変化による危機

### ひょうごの生物多様性保全プロジェクトの推進

モデルとなる生物多様性保全活動を「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」として選定し、活動内容の発信や県民・企業の参加促進、「生物多様性ひょうご基金」による活動支援を行います。

#### 生物多様性ひょうご基金

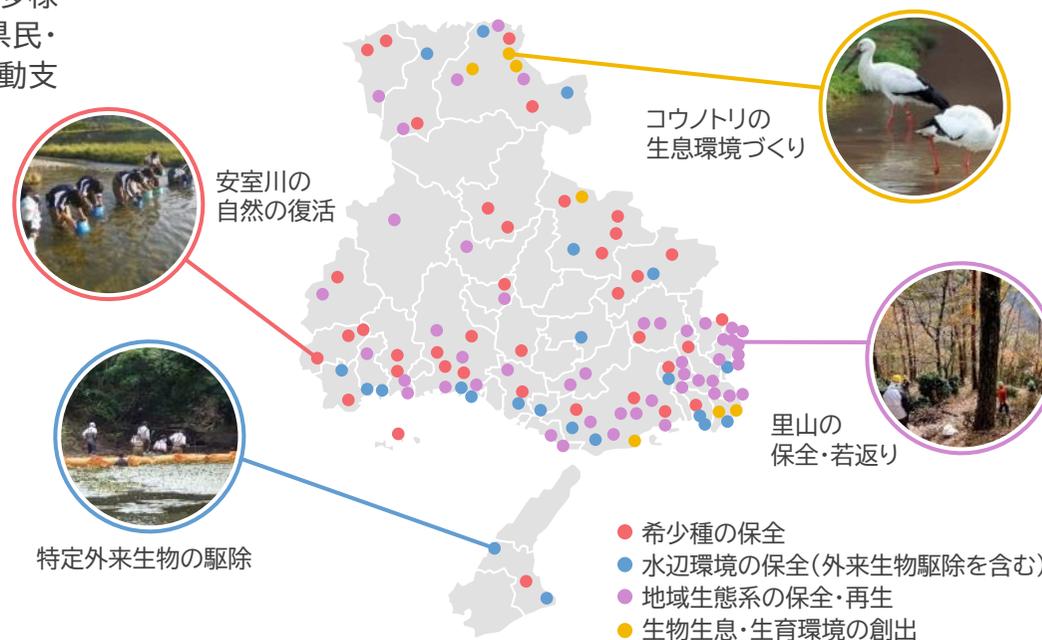
プロジェクト活動への寄付や、参加いただける企業を常時募集しています。

また、いただいた寄付金は生物多様性ひょうご基金((公財)ひょうご環境創造協会)に受入れ、プロジェクト団体へ助成しています。

基金への寄付感謝状贈呈式(R7.2)



#### ひょうごの生物多様性保全プロジェクト活動状況



# II 自然共生 ～人と動植物が共存する豊かな自然の保全～

## ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現



14

### 生物多様性ひょうご戦略の推進

#### ● 貴重で豊かな生態系の保全・再生

上山高原及び周辺地域においてイヌワシなど貴重な野生生物の生息に適した自然環境づくりを地域住民や専門家と連携して進め、エコミュージアムとして魅力向上に繋がります。

#### ● 但馬イヌワシ・エイドプロジェクト

国の天然記念物であり絶滅危惧種の「イヌワシ」を頂点とする生態系の保全を図るため、灌木林の伐採やササ原の手刈り等、地元NPOや専門家などと連携して、対策に取り組みます。



シワガラの滝トレッキングツアー



自然復元のための灌木等の伐採



イヌワシ

#### 上山高原（新温泉町）

上山高原は、自然性の高いブナ林と人の営みの中で育まれてきたススキ草原が広がりイヌワシやツキノワグマなど貴重で豊かな生態系を育んでいる



### 自然公園の保護及び利用促進

優れた自然の風景地を保護するとともに、休養や環境学習等の利用に役立てるため、自然公園内のふれあい施設や野営場、トイレ、看板・標識などの老朽化対策や近畿自然歩道の維持管理に取り組み、自然体験の拠点として快適性・安全性を確保します。



改修前



改修後

自然歩道の木橋・標識の改修

### 生物多様性を支える人づくり

自然環境や動植物、生態系等に精通した専門家、学識者等による生物多様性アドバイザーが、行政や企業・NPO・市民グループ等からの環境保全活動等に関する相談に対して助言を行います。

また、自然に関する豊富な知識と熱意を有する自然保護指導員を委嘱し、自然環境の保全と適正な利用について県民への助言・啓発を行います。



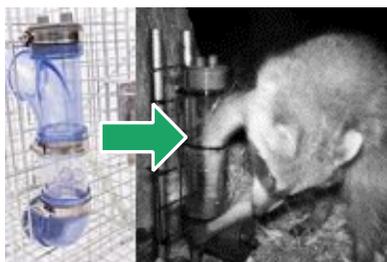
自然保護指導員による「豊岡の豊かな自然」に関する講義

### 兵庫県外来生物対策協議会と連携した対策

兵庫県外来生物対策協議会を中心にアライグマ・ヌートリア、外来昆虫及び外来植物などの種ごと・生息地域ごとに防除体制をとり、総合的な対策を講じます。

#### ● アライグマ・ヌートリアの捕獲強化

農業被害や生活環境被害防止に向け、対策連絡会議を開催し、連携した防除を推進するとともに、市町が行う捕獲から処分までの経費支援や捕獲わなの活用方法などの技術支援を通じて市町等の捕獲技術の向上を図ります。



筒形トリガーに前肢を入れエサをとろうとしているアライグマ



農園での現地研修

#### ● 外来昆虫・外来植物対策の推進

特定外来生物に指定されている外来昆虫・植物の早期発見・早期防除に向け、分布調査や防除計画の策定、新しい防除手法の実証等に取り組み、市町と連携した効果的かつ効率的な防除対策を進めます。



生活環境などへの被害をもたらすアルゼンチンアリ  
(提供:兵庫県自然保護協会)



繁殖力が非常に強く、生態系や農業などに深刻な被害を及ぼすクビアカツヤカミキリ

### ナガエツルノゲイトウの抜本的防除対策の推進

生態系や農業・治水面で甚大な被害をもたらすナガエツルノゲイトウの分布拡大阻止に向けて、関係部局間の連携のもとに設置した防除対策会議を中心に、県内の分布調査、効率的で効果的な防除手法の実証、人材育成、普及啓発などの抜本的防除対策を講じます。

#### 主な防除方法



地下の根ごと丁寧に掘り起こして引き抜く



流出入口や洪水吐などに侵入防止フェンス・ネットを設置



遮光率100%のゴム製遮光シートで繁茂箇所を覆い駆除



堤防や石垣の目地の隙間から生えないよう樹脂で充填



ナガエツルノゲイトウ (ヒユ科)

### ワイルドライフ・マネジメントの推進

農林業被害等の軽減や生物多様性の保全を図り、人と野生動物との調和のとれた共存を目指すため、獣種別の管理計画を策定し、地域の実情に応じた野生動物の ① 個体数管理(捕獲)、② 被害管理(防護柵の設置等)、③ 生息地管理(広葉樹林の整備等)を総合的・計画的に行う野生動物の保護管理(ワイルドライフ・マネジメント)を推進します。

#### 野生鳥獣保護管理計画体系



### 集落・農家への支援の強化

被害の大きな集落での適切な鳥獣被害対策実施のため、専門知識と現場経験を備えた民間事業者を集落へ派遣し、被害対策のカルテ化・処方箋作成を行うほか、処方箋に基づく集落・農家自らによる被害対策と捕獲対策の実践を支援します。

さらに、ICTに係る専門知識を備えた現地アドバイザーを集落へ派遣し、ICT技術を活かしたスマート獣害対策のモデルを育成し、過疎高齢化が進む集落での適切な鳥獣被害対策を実施します。



ICTわな設置指導(新温泉町)

### 都市部における獣害対策の強化

シカ、イノシシの市街地への生息区域の拡大により人身事故等が発生していることを踏まえ、従来の獣害対策を実施することができない都市部でのモニタリングや捕獲手法の開発に取り組み、野生動物の出没防止対策を実施できる体制をモデル構築します。



ゴミを漁るイノシシ(神戸市内)

### シカ対策



#### ● シカの捕獲強化

農林業被害が軽微になる生息密度を目指して、令和7年度の年間捕獲目標を46,000頭とし、ICT技術を備えた大型捕獲わなの導入、狩猟期間中の捕獲報償金制度の活用等により、捕獲強化に取り組みます。

また、生息密度が高く、捕獲が困難な地域では、県委託の民間捕獲事業者による捕獲を実施します。



シカによる樹皮剥ぎ被害



シカによる森林の裸地化

#### ● ひょうごジビエの利用促進

捕獲したシカを食用やペットフードなどの地域資源として有効に活用するため、処理加工施設等の整備や捕獲個体の搬入・回収支援に加え、ひょうごジビエの日(毎月6日、16日及び第4火曜日)の普及啓発等により、シカ肉等の給食・学食への導入を含めた幅広い需要拡大を図ります。



第5回ひょうごジビエコンテスト  
最優秀賞(里山鹿マヨ丼)

### イノシシ対策



#### ● イノシシの捕獲強化

シカに次いで農業被害が大きいイノシシの捕獲目標を令和7年度は、年間25,000頭とし、有害捕獲を促進します。

また、被害集落へ効率的・効果的な捕獲技術の指導、狩猟期の捕獲報償金制度の活用等、捕獲体制を強化するとともに、人身事故等の生活被害が発生している六甲山山麓の市街地周辺では、イノシシ緊急対策協力員の配備や、加害個体の捕獲やわなの見回り活動等の経費を支援します。



箱わなによるイノシシの捕獲



イノシシによる畦掘り返し

#### ● 野生イノシシの豚熱(CSF)への対応

令和2年10月以降、感染確認が続く豚熱への対応として、経口ワクチン散布に合わせて、散布エリア及び周辺市町での捕獲を強化し、生息密度を低下させることでまん延防止を図っています。

### ツキノワグマ対策



#### ● ツキノワグマ対策の強化

出沒対応に係るマニュアルの作成や資材購入、出沒対応訓練など、各市町におけるツキノワグマ出沒防止対策や体制整備を進めるための取組を支援するとともに、有害捕獲用わなの導入や、ICT技術を用いた放獣個体の監視強化に取り組みます。

また、クマ管理に関する座学研修や実技研修を開催し、クマ管理を担う行政職員や市街地出沒対応を担う人材を育成します。

#### ● 関係機関との連携強化

目撃拡大傾向の神戸・阪神地域6市の知見を高めるため、既存の「県南地域シカ分布拡大防止対策会議」の対象にクマを加え、関係機関と連携したクマ対策を推進します。



集落周辺で捕獲されたクマ

### ニホンザル対策



県内の生息数は全体で851頭と推定され、地域個体群はそれぞれ孤立し、地域的な絶滅が危惧されている一方で、農業被害や人家侵入などの生活環境被害を発生させていることから地域個体群の安定的維持と被害軽減を両立させるため、群れごとの生息状況に応じた適切な個体数管理を実施します。

また、サルが登りにくい防護柵の整備やサル監視員による追い払いなど、サル被害に強い地域づくりを進めます。



人家周辺に出沒するニホンザル

### カワウ対策



県内には、約7千羽のカワウが生息し、アユ稚魚の食害や樹木の立ち枯れ等を発生させていることから、カワウの個体群管理や、被害河川における銃器捕獲や釣り針を用いた捕獲促進、ねぐらとなる樹木の伐採等、被害軽減に向けた取り組みを進めます。



休息するカワウ(佐用川)



集団ねぐらとなり立ち枯れた樹木

### 狩猟者（捕獲者）の確保・育成

狩猟への関心を高める体験会やPRイベント、免許取得のための知識を学ぶ講習会等の開催等により狩猟者の確保を図るとともに、狩猟初心者を対象にした技能研修や熟練狩猟者による「銃猟のマンツーマン指導」等により、狩猟者（捕獲者）の育成に取り組めます。



シューティングシミュレーター体験会

### 県立総合射撃場～ハンターズフィールド三木～の活用

R6年6月に開場した狩猟初心者向けの研修機能を併せ持つ県立総合射撃場を、狩猟人材を確保・育成及び狩猟に関する情報発信の拠点として活用します。



#### 兵庫県立総合射撃場 ～ハンターズフィールド三木～

多様な銃種・射撃タイプに対応した射撃練習場とわな猟の練習場を備えた全国初の施設

- 所在地 三木市吉川町福井
- 営業時間 夏期(4～9月)9:30～17:00、冬期(10～3月)9:30～16:00  
※ 月曜日(祝休日の場合は翌日)、年末年始は休業



エアライフル射場



トラップ射場



管理棟での初心者研修



ジビエ処理加工研修



兵庫県立総合射撃場全体位置図



ライフル射場



くくりわな設置研修  
(狩猟体験フィールド)

# II 自然共生 ～人と動植物が共存する豊かな自然の保全～

## 豊かで美しい里海としての瀬戸内海の再生



### 栄養塩類管理計画の推進

兵庫県栄養塩類管理計画(R4.10策定)に基づき、計画的な栄養塩類供給に伴う水質の状況の検証を行うとともに、対象海域での水質目標値の達成・維持に向け、① 県民の理解を深める取組の検討・実施、② 栄養塩類増加措置実施者の追加、③ 新たな栄養塩類供給方策の調査・研究等 に取り組めます。

#### 兵庫県栄養塩類管理計画（R4年10月策定）



大阪湾西部と播磨灘(淡路島南部含む)の海域に窒素やりんなどの栄養塩類供給を可能にし、きめ細かく栄養塩類の管理を行えるようにします

- 対象海域 大阪湾西部、播磨灘(淡路島南部含む)
- 対象物質 全窒素、全りん
- 増加措置実施者 5工場、28下水処理場
- 水質の目標値 望ましい栄養塩類濃度(県条例下限値～環境基準値)

水域 類型	全窒素 (mg/L)		全りん (mg/L)	
	条例下限値	環境基準値	条例下限値	環境基準値
II	0.2	0.3	0.02	0.03
III	0.2	0.6	0.02	0.05

### 県民総参加による豊かな海づくり



ひょうご豊かな海づくり推進大会の開催や豊かな海づくり活動啓発など「ひょうご豊かな海づくり県民会議」を母体として、多様な主体が取り組む豊かな海づくり活動を推進します。



施肥による豊かな海づくり活動  
(大蔵海岸)



第2回ひょうご豊かな海づくり推進大会  
(明石市)

### 藻場・干潟の再生、創出支援

地域の多様な主体による本県沿岸域の良好な環境の再生等の取組を推進するため、地域団体等が行う藻場・干潟の再生・創出等、水辺などの実践活動に対して支援を行います。



NPOと漁業者、県民による藻場保全活動



アマモポッドでの育苗活動

## 豊かで美しい里海としての瀬戸内海の再生



### ひょうごの海におけるブルーカーボンの推進

- ブルーカーボンの創出**  
 ブルーカーボン生態系(ノリ養殖、海藻や海草等が繁茂する藻場)によるCO<sub>2</sub>吸収量を定量化し、ブルーカーボンの創出を図ります。  
 また、本県がトップクラスの生産量を誇る養殖ノリのブルーカーボンクレジット化を目指します。
- 兵庫のりのブランディング**  
 ノリの養殖・加工工程で排出されるCO<sub>2</sub>を森林由来のクレジットでオフセットした「ひょうごカーボン・ゼロのり」の販売を通じて、CO<sub>2</sub>削減、豊かな海づくり、森林保全といった環境貢献に関する県民の意識啓発を図ります。



ひょうごカーボン・ゼロのり(イメージ)

### ひょうごの海におけるブルーカーボンの推進

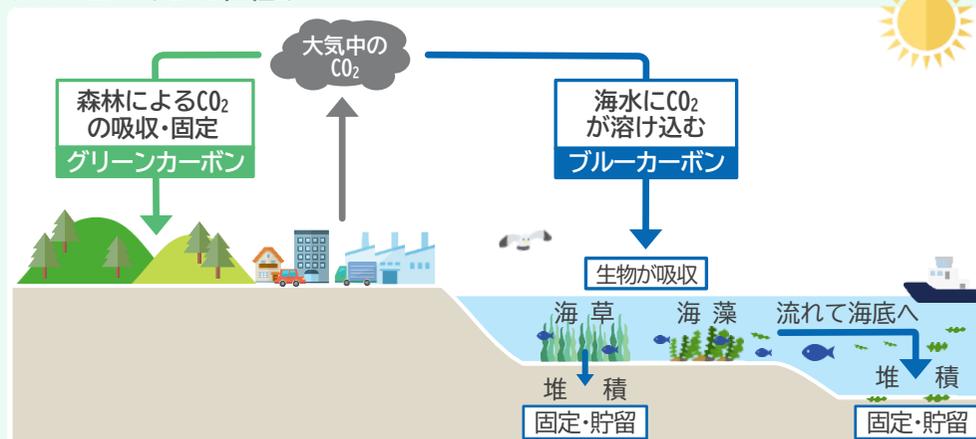
“海の万博”と称される大阪・関西万博を契機に、公民連携のもと大阪湾奥部における藻場・干潟の創出と湾南部や西部における保全・再生を行います。

#### 大阪湾MOBAリンク構想

大阪湾での藻場等の保全・再生・創出を加速し、大阪湾沿岸をブルーカーボン生態系による回廊(コリドー)でつなぐ取組み



### ブルーカーボンの仕組み



生物多様性やブルーカーボンの機能を有するアマモ(須磨海岸)



養殖場から離脱し漂うノリ(大阪湾)

### 兵庫県資源循環推進計画の推進

プラスチック資源循環や廃棄物・資源循環分野におけるカーボンニュートラルを促進する観点を加えた兵庫県資源循環推進計画(R6.1策定)に基づき、廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上を促進するとともに、製造・流通・消費等の各段階で資源循環を推進します。

#### 暮らしに根ざした資源循環の重点取組

##### プラスチック資源循環の推進

- プラスチックの「使用削減+焼却量削減」
- ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアムの展開

##### 食品ロス削減対策の推進

- 「ひょうごフードドライブ」の展開
- DXを活用したマッチングの推進

##### サステナブルファッションの展開

- 市町等と連携した衣服回収システムの構築や「繊維to繊維リサイクル」の促進
- リサイクル技術の高度化



### プラスチックごみ対策の推進

プラスチックごみ削減に向け、3Rの取組を徹底することを基本としつつ、プラスチック資源循環促進法(R4.4施行)とあわせ、再生可能資源への代替(リニューアブル)の観点も加えた新たな資源循環の取組を推進します。

### ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアムの展開

観光やスポーツ等、異分野の業種や市町、リサイクラー等と連携した「ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアム」により、公民連携でプラスチック資源循環促進方策の具現化に取り組んでいます。

#### ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアムによる主な取組例

##### プラスチックの使用削減などの促進

城崎温泉旅館でのアメニティグッズのプラスチック使用削減や海洋プラスチックごみ対策として生分解性プラスチックへの置き換えを促進



##### 水平リサイクル等の促進 I

飲料メーカーやリサイクラー等による「ひょうごPETボトルサーキュラーネットワーク」を立ち上げ、排出されるPETボトルの水平リサイクルを促進



##### 水平リサイクル等の促進 II

環境学習を通じて考案した食品トレーを店頭にて回収し、原料として利用する水平リサイクルを促進



##### 行動変容の促進 I

スポーツイベント等の開催に合わせて不要となったスポーツウェアを回収して、新たなウェア原料素材とするリサイクルを促進



##### 行動変容の促進 II

ごみ問題を自分事と捉えるきっかけとして、ごみ拾い時等に「兵庫県版ピリカ」を活用する清掃活動を県内各地域で展開



### 資源循環型ライフスタイルへの転換

- **ワンウェイプラスチック削減県民運動の展開**  
生活者・消費者団体等で構成する新しいライフスタイル委員会によるレジ袋をはじめとするワンウェイプラスチック削減に向けた県民運動に関する取組みを支援します。
- **ひょうごフードドライブの全県展開**  
家庭で余っている食品をごみにせず、それを必要とする福祉団体等にスーパー等を通じて寄附する「ひょうごフードドライブ」の継続的な実施体制を確保するとともに、実施店舗を拡大を図るため初期費用を支援します。  
また、県内のフードドライブ実施拠点マップをWEBサイトで公開し、県民のフードドライブへの参加を促進します。

### フードドライブの取組例



### 誰もが参加しやすい資源循環モデルの構築

- **サステナブルファッションの展開**  
「繊維to繊維リサイクル」の促進を目指すため、企業やリサイクラー、アパレルメーカー等と連携し、地域の特色を活かした効率的・効果的な衣類回収、再生・回収システムを構築し、県内市町への普及展開を目指します。
- **廃食油の回収・活用モデルの構築**  
家庭から排出される廃食油を効率的・効果的に回収し、SAF(持続可能な航空燃料)として、再生利用するシステム構築に向け、空港周辺自治体、小売店及びリサイクラーと連携した廃食油の店頭回収実証実験を行います。

### 資源循環の流れ



## 廃棄物の適正処理の推進



### 産業廃棄物処理対策の推進

廃棄物処理法に基づく処理業や処理施設の許可申請を厳正に審査するとともに、中間処理業者及び最終処分業者への立入検査の実施や不適正な事項が判明した場合は厳格な指導を行います。

また、多量排出事業者に対して、処理計画の策定や実績報告等を義務づけ、廃棄物の減量化や再資源化の指導を行います。

### 処理が困難な廃棄物への対応強化

#### ● PCB廃棄物対策の推進

PCB廃棄物保管事業者及びPCB使用製品の所有事業者に対し、確実な処理を指導するとともに、計画的かつ適正に全てのPCB廃棄物の処理を推進します。

#### ● 使用済太陽光パネルの適正処理の推進

2030年代後半とされる大量廃棄が懸念される太陽光パネルの適正な処理を推進するため、(公財)ひょうご環境創造協会と連携して排出量推計やリサイクル手法の検討を進め、パネルのリユース・リサイクルの体制づくりの構築を目指します。



太陽光パネルのリサイクル施設

### 漂流ごみ・海底ごみ対策の推進

#### ● 兵庫県海岸漂着物対策推進地域計画の推進

兵庫県海岸漂着物対策推進地域計画(R2.3改定)に基づき、漂流・海底ごみも含めた海ごみの着実な回収・処理とプラスチックごみの排出抑制・リサイクルを推進します。

また、海洋ごみによる汚染状況、発生源を把握するため、漂着ごみの組成調査やプラスチックごみ流入量の実態調査を行います。

人工漂着物に占めるプラスチック類の割合(R5年度)



#### ● 市町と連携した取組の推進

市町等と連携し、国庫補助を活用した漁業者等のボランティアによるごみの回収、市町ごみ処理施設での受入等の処理体制構築を進めるとともに、漂着ごみ等の発生を抑制するための県民への意識啓発を図っていきます。



「海ごみ」企画展の開催を通じた啓発(西宮市)

### 災害廃棄物処理の体制づくり

地震発生を想定した図上演習や災害廃棄物仮置場の設置・運営に係る実地訓練を実施し、平時から民間事業者との連携を含めた処理体制の構築等、災害廃棄物処理への対応力を強化します。



発災を想定した図上演習



災害廃棄物仮置場の設置・運営訓練

### 廃棄物の適正処理体制の整備

#### ● 長期広域化・集約化計画の策定

将来にわたって持続可能な適正処理を確保するとともに、同時にカーボンニュートラルも推進するため、中長期的な視点による安定的かつ効率的な廃棄物処理体制の構築に向けた長期広域化・集約化計画の策定を目指します。

#### ● 廃棄物広域処理の推進

廃棄物の適正な海面埋立と、港湾の秩序ある整備による生活環境の保全と地域の均衡ある発展をめざす「大阪湾フェニックス事業」を促進します。

#### 策定スキーム

ごみ処理広域化・集約化協議会を設置し、現状整理とブロック区割りを検討

- ① 現時点の広域化状況の評価
- ② 人口ごみ排出量等の将来予測
- ③ ブロック区割りの設定案
- ④ ブロックごとの廃棄物処理体制

ブロック別に協議会を設置し内容を協議

長期広域化・集約化計画の策定

#### 神戸沖埋立処分場(大阪湾フェニックス事業)

処分場護岸の一部に緩傾斜護岸を採用し、藻場や魚類の生息空間となる浅場の形成による生物多様性の再生を図っている



### 工場・事業場のばい煙発生施設等対策

大気汚染防止法に基づき、窒素酸化物等を排出するばい煙発生施設等の届出審査を行うとともに、工場等への立入検査を実施し、ばい煙発生施設等の維持管理等の指導、ばい煙・VOC(揮発性有機化合物)・水銀濃度の測定を行い、規制基準の遵守状況等を監視します。



工場への立入検査

### アスベスト対策の推進

大気汚染防止法及び環境保全条例に基づき、アスベスト含有建築物の解体・改修工事について届出審査を行います。

また、工事現場での作業基準等の遵守状況の確認を行うため、県環境研究センターと連携して測定を伴う立入検査を実施するとともに、今後のアスベスト使用建築物解体件数増加に対応すべく効率的な立入検査方法を検討します。



携帯型蛍光顕微鏡によるアスベストの漏洩確認

### 航空機騒音調査の実施

関西国際空港及び神戸空港の便数増加に伴う新飛行経路の運用に対して、淡路島上の新航路の直下を中心に航空機騒音の影響増加が予想されることから生活環境の保全に資するため、航空機騒音の動向を監視します。

### 大気汚染状況の監視

大気汚染に係る環境基準が設定されている物質を中心に、継続的に大気汚染状況の常時監視を実施します。

#### ● 微小粒子状物質(PM2.5)対策

PM2.5自動測定機による常時監視を行い、日平均値が $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えるおそれのある場合には、県民への注意喚起情報を発信します。

また、効果的なPM2.5対策を検討するため、質量濃度測定に加えて、成分分析を実施します。

#### ● 光化学スモッグ対策

光化学スモッグによる被害発生防止を図るため、光化学スモッグの発生しやすい期間中(4～10月)は、広報発令体制を強化し、光化学オキシダントが高濃度時は、光化学スモッグ注意報等を発令し、県民への広報、主要工場への窒素酸化物排出量の削減要請、発令地域への自動車の乗り入れ自粛要請等を行います。

Webサイト「ひょうごの大気環境」で発令状況を発信

#### 微小粒子状物質(PM2.5)



#### 光化学スモッグ※



※ 光化学スモッグ発令状況は毎年4～10月に発信

### 工場・事業場の排水規制等の実施

水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づき、特定施設(污水排出施設)の設置等について、届出・許可申請を通じて指導し、公共用水域及び地下水の水質保全を図ります。

また、排水基準等が適用される特定事業場への立入検査を実施し、排水処理施設の維持管理の改善等の指導を行い規制基準の遵守状況等を監視しています。

### 水質等の常時監視

公共用水域(河川・湖沼・海域)及び地下水の水質汚濁状況を把握し、施策に反映するため、国・市町と連携して、水質汚濁防止法に基づき水質測定計画を定めます。

また、同計画に基づき、公共用水域での水質の測定を行うとともに、県内全域で概況調査として地下水の測定を行い、汚染が確認された井戸では、継続監視調査として、定期的に汚染項目の測定を実施します。



瀬戸内海で水質調査



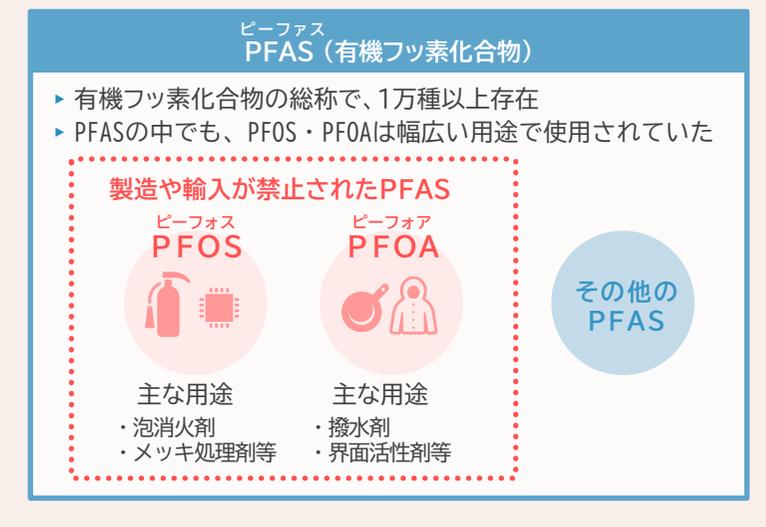
地下水の採水・測定

### 有機フッ素化合物(PFAS)への対応

健康への影響が懸念されるPFASについて、県内全域の河川や地下水での常時監視を継続するとともに、PFASの環境中の挙動を解明し、低減・削減対策を検討するため、削減指導手法の調査研究を実施します。

また、県民への正確で迅速な情報発信体制を整備します。

#### 有機フッ素化合物(PFAS)



### 土壌汚染対策の推進

土壌汚染対策法に基づき、3,000m<sup>2</sup>以上の土地の形質変更時等の届出や土壌調査、土壌汚染対策が確実に実施されるよう、土地所有者等に対して指導を行います。

また、事業者の自主的な調査等により判明した土壌汚染について、同法に準じた対策を講じるよう指導します。

### 不適正処理の未然防止・拡大防止

廃棄物処理法及び産業廃棄物等の不適正な処理の防止に関する条例との一体的な指導強化により、不法投棄の未然防止・拡大防止に努めます。

また、土砂埋立等の許可にあたっては、廃棄物の混入防止や、土砂崩落事故のような災害の発生防止措置等の審査を行うとともに、立入検査により許可基準の遵守状況を監視します。

### 県民参加による美しい環境づくり

「クリーンアップひょうごキャンペーン」として、地域住民や団体、行政、企業等が連携した県内各地での清掃等の環境美化活動の実施やごみの発生抑制に向けた普及啓発活動等、様々な主体が協働する広域的な対策を推進し、美しい環境づくりに向けた意識醸成を図ります。



キャンペーンキックオフイベント  
(加古川市)



中学生によるボランティア清掃  
(明石市)

### 不法投棄を許さない地域づくりの推進

#### ● 不適正処理防止対策の強化

各県民局に不適正処理監視員を配置し、廃棄物運搬車両の路上検問や事業者・処理業者への指導を行います。

また、地域住民と連携した合同監視パトロールの実施、自治会への監視カメラの貸出等を行います。



住民等による不法投棄物の撤去  
(小野市)



不法投棄監視カメラ(稲美町)

#### ● 不法投棄通報アプリの活用

不法投棄された廃棄物の状況を、スマホなどのモバイル端末から、投稿できるアプリを活用し、不法投棄に関する位置情報や写真などの情報をリアルタイムで把握し対応し、早期発見に努めます。

#### 不法投棄通報アプリ活用のイメージ

アプリから投稿

状況を確認・対応



## 環境影響の未然防止と適切な情報提供



### 化学物質の排出量・移動量の把握と公表

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)に基づき、工場等での化学物質(515物質)の排出量及び移動量を把握・公表し、事業者自らの排出量の適切な管理や化学物質によるリスク低減を図ります。

### 排出基準未設定化学物質の実態調査

大気汚染防止法、水質汚濁防止法等の規制対象となっていないものの、残留性、毒性等が高いなど健康への影響のおそれがある物質について環境リスクの低減を図るため、環境汚染実態調査を実施します。

### 環境影響評価(環境アセスメント)制度の適切な運用

環境に著しい影響を及ぼすおそれのある大規模な開発行為等の実施に際し、あらかじめ環境への影響を調査、予測、評価して、環境の保全の観点からより良い事業計画を作り上げるため、「環境影響評価法」(アセス法)及び「環境影響評価に関する条例」(アセス条例)に基づき、事業者への指導や審査を行います。

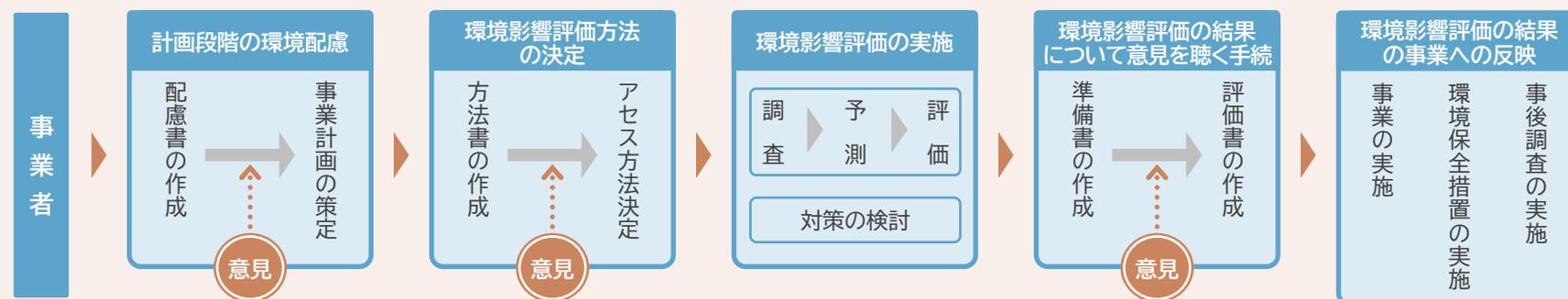
### 太陽光発電事業に対するアセス等の指導

太陽光発電所の新設・増設について、令和2年度から事業区域面積5ha以上の事業を環境影響評価に関する条例の対象に追加し、環境影響評価審査会による厳格な審査を通じ、事業者による自然環境等への配慮の徹底を図っています。

また、事業区域面積5ha未満の小規模な太陽光発電事業※であっても、環境配慮が適正になされるよう、小規模太陽光発電所に関する自然環境調査指針に基づき、自然環境調査の実施や調査結果報告書の作成に関する事業者への指導を行います。

※ 事業区域面積0.5ha以上で森林の伐採を伴うものやため池の水面上等に設置するものに限る。(たつの市、小野市、朝来市、多可町、市川町の区域並びに三田市の市街化調整区域外は0.1ha以上。三田市の市街化調整区域は0.03ha以上。)

環境影響評価手続の流れ



## 共創を担う次世代の人材の育成



### 共創を担う次世代の人材の育成

兵庫五国の多様な自然風土などを活かしながら、自ら「体験」、「発見」し、自ら「学び」、「行動」する機会を提供し、継続的な環境学習・教育を推進します。

幼児期

初めての環境体験の機会を提供



学齢期

発達段階に応じた体験活動を実施【教育委員会】

青年期・成人期

環境問題の解決策を考え、実践できる資質を身に付ける人材を育成

- ひょうごエココプロジェクト(ふるさと兵庫子ども環境体験)  
幼児が一定の専門性を持つ環境体験を継続的に受けられる体制を構築するため、幼稚園等が実施する環境体験を支援します。

- ・ 環境体験事業(小学校3年生)
- ・ 自然学校推進事業(小学校5年生)

- ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト  
(公財)ひょうご環境創造協会と連携し、高校生を対象に、環境問題を多角的に捉え、解決策を考え、実践できるリーダーを育成します。

- ひょうごユースecoフォーラム  
高校生や大学生などの若者世代の運営による環境保全活動団体や企業等との交流を図るフォーラムの開催を支援します。



ひょうごエココプロジェクト



ユースecoフォーラム(R6.12)

### 環境学習・教育に関する情報発信・活動支援

ひょうご環境体験館を環境学習の拠点施設として、体験活動等を通じた地球温暖化をはじめとする環境問題への県民の意識向上や環境保全・創造活動を促進します。

#### ひょうご環境体験館(はりまエコハウス)

- 所在地 佐用郡佐用町光都1-330-3
- 開館 10時から17時まで
- 入館料 無料
- 休館日 月曜日(祝日の場合、翌日) 12月31日、1月1日



ひょうご環境体験館  
マスコット「ひょうゴン」





### 様々な主体への普及啓発活動

#### ● 地球と共生・環境の集い2025の開催

県民一人ひとりの地球環境問題に対する正しい理解と、幅広い連携による環境行動を呼びかけるため、環境月間の6月(R7.6.5)に「地球と共生・環境の集い2025」を開催しました。

#### ● 新しいライフスタイル委員会への支援

「地球環境時代！新しいライフスタイルを展開しよう～新しいライフスタイル委員会」が取り組む使い捨てプラスチック削減の普及啓発や環境にやさしい事業者の顕彰など環境と調和したライフスタイルの展開に関する活動を支援します。



兵庫県環境にやさしい事業者賞の授与

### 国際環境協力の推進

本県に立地しているアジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)センターや(公財)地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター等の研究機関への活動支援や国際フォーラムの共催を通じて、地球環境保全に向けた国際的な取組を地域から推進します。

また、(公財)国際エメックスセンターと連携し、閉鎖性海域の環境保全に関するセミナーやワークショップを開催し、世界の行政官、研究者、団体等の学術的な繋がりを築くとともに、瀬戸内海の水質環境を回復した本県の経験を広く世界に発信します。



阪神・淡路大震災30年記念事業 SDGs国際フォーラム2024 (R6.12)  
「気候危機時代の防災・復興の新たな展開～災害廃棄物の観点から～」

### 持続的な地域創生を推進する人材育成

((公財)ひょうご環境創造協会)

再生可能エネルギーの導入によるエネルギーの地産地消など、地域循環共生圏の創出に向け、事業づくりや地域づくりを率先して進める人材(サスティナビリティ・オーガナイザー)の育成プログラムを実施し、様々な主体との協働を推進します。



脱炭素×SDGsオーガナイザー育成プログラム

### 大阪・関西万博に合わせた国内外への発信

大阪・関西万博を契機に、未来を担う若い世代との交流を通して里山・里海の重要性やその保全と再生に向けた取り組みを国内外に発信し、持続可能な地域づくりを目指すフォーラムを開催します。

## 参 考 资 料

### 環境部分掌事務

環境部長	福山 雅章	3207	362-9891	控室（秘書）	3208
環境部次長	久野 洋貴	3204	362-3235		3205
環境部次長	上西 琴子	3318	362-9897		3205

### 総務課分掌事務

課長	岡野 揮代美	74653	362-3271		
副課長	女鹿 貴史	74654	362-9892		

班名 (電話)	分掌事務	職員数 (含班長)	担当
総務班 (74655, 74655 74657, 3205) (362-9081)	1 環境部の行政に係る文書及び公印の管守に関する事 2 環境部職員の身分取扱い、研修及び福利厚生に関する事 3 環境部の定員及び現員に関する事 4 環境部職員の給与に関する事 5 部内各課の所掌に属さない事	3名	副課長兼総務班長 女鹿 貴史
企画班 (74658, 74659 74660) (362-3272)	1 環境部の行政の企画及び総合調整に関する事 2 環境部の行政に係る事務の能率化に関する事 3 環境部の行政に係る広報及び広聴の推進並びに連絡調整に関する事 4 自然災害および事故等に係る環境汚染被害報告のとりまとめに関する事 5 農政環境常任委員会等、県議会に係る事務の連絡調整に関する事 6 環境部の行政に係る県政改革の推進に関する事 7 環境部の行政に係る情報通信技術の活用に関する事 8 環境部の行政に係る地方分権改革に関する事	3名	企画班長 渡辺 佳奈子
経理班 (74661, 74662 74663) (362-3402)	1 環境部の予算の編成及び執行に関する事 2 環境部の決算に関する事 3 環境部に係る監査に関する事 4 環境部の公有財産の取扱いに関する事 5 会計検査院の検査に関する事	3名	経理班長 正垣 聡

## 【公社等派遣】

(公財)ひょうご環境創造協会	部参事 副課長 主幹 主幹	芳中 谷山 吉岡 小倉	正明(専務理事兼経営企画部長) 雄司(経営企画部次長兼経営課長) 達也(経営企画部経理課長) 健(環境創造部環境創造課長)
(兵庫県環境研究センター)	課参事 主席研究員兼 研究主幹 主幹	吉田 宮崎 松村	光方子(センター長兼大気環境科長) 一(主席研究員兼水環境科研究主幹) 千里(水環境科長)
(公財)地球環境戦略研究機関関西研究センター	主幹 主幹	森本 石津	佳宏(主任研究員) 雅之(総務課長)
(公財)地球環境戦略研究機関APNセンター	副課長 主幹	渋谷 小田	洋明(副センター長) 真美(総務課長)
(公財)国際エメックスセンター	副課長 主幹	松浦 椿野	正明(事務局長兼瀬戸内海環境保全協会事務局長) 泰三(総務課長兼瀬戸内海環境保全協会総務課長)
大阪湾広域臨海環境整備センター	部参事 部参事 課参事 副課長 主幹 主幹 主幹	松永 馬場 宮永 馬場 田中 山口 平野	康司(常務理事) 康弘(常務理事) 和幸(参事兼企画課長) 敏郎(環境課長) 一弘(総務課課長補佐) 一彦(企画課課長補佐) 智也(環境課課長補佐兼兵庫建設事務所建設課課長補佐)
(兵庫建設事務所)	課参事 副課長 主幹	山内 横山 鎌田	齐(所長) 寿信(業務課長) 哲郎(建設課課長補佐兼工務課課長補佐)

### 環 境 政 策 課 分 掌 事 務

	課長	森 田 直 子	74665	362-9895
	温暖化対策官	井 川 あゆみ	74666	362-3288
	副 課長	江 本 慶 子	74667	362-4421
	副 課長	加 茂 慎	74668	362-9093

班 名 (電 話)	分 掌 事 務	職 員 数 (含 班 長)	担 当
政策班 (74669, 74670 74683) (362-4421, 362-3339)	1 環境の保全と創造に関する総合的施策の企画及び推進に関すること 2 環境の保全と創造に関する行政の総合調整に関すること 3 環境基本法の施行に関すること(他課の所掌に属するものを除く) 4 環境基本計画に関すること 5 環境審議会に関すること(他課の所掌に属するものを除く) 6 環境行政に係る情報収集及び広報に関すること(他課の所掌に属するものを除く) 7 環境白書に関すること 8 地球環境保全資金に対する融資に関すること 9 公害紛争処理法の施行に関すること 10 公害審査会に関すること 11 公害防止事業費事業者負担法の施行に関すること 12 環境保全基金に関すること(グリーンニューディール基金に関することを含む) 13 公害健康被害の補償等に関する法律の施行に関すること 14 (公財)ひょうご環境創造協会に関すること 15 アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)、(公財)地球環境戦略研究機関(IGES) 関西研究センターに関すること 16 環境分野の国際交流・協力に関すること(他課の所掌に属するものを除く) 17 文書及び公印の管守に関すること 18 課の予算・経理・庶務に関すること	7 名	副課長兼政策 班長 江本 慶子
学習・活動支援 担当 (74671, 74672 74673, 74674) (362-3156)	19 新兵庫県環境学習環境教育基本方針に関すること 20 ひょうご環境体験館に関すること 21 ひょうごユースecoフォーラムの開催に関すること 22 ひょうご高校生環境・未来創造リーダー育成事業に関すること 23 兵庫県環境適合型社会づくり推進会議に関すること 24 環境率先行動計画に関すること 25 兵庫県環境マネジメントシステムに関すること 26 省エネ法に基づく特定事業者の事務に関すること 27 新しいライフスタイルの展開に関すること		主幹(学習・活 動支援担当) 中安 祐介

班名 (電話)	分掌事務	職員数 (含班長)	担当
温暖化対策班 (74675, 74676, 74677, 74684) (362-9093, 362-3284)	28 環境にやさしい事業者等の活動に関する事 29 ひょうごフードドライブ運動に関する事 30 ふるさと兵庫こども環境体験推進事業に関する事 31 エコツーリズムバスに関する事 32 環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律の施行に関する事(他課の所掌に属するものを除く)  1 環境の保全と創造に関する条例に基づく特定物質排出抑制計画等に関する事 2 環境の保全と創造に関する条例に基づく温暖化防止特定事業届出制度(温暖化アセス制度)に関する事 3 産業・業務部門の省エネに関する事(ひょうご環境創造協会との連携事業を含み、他の項目で規定するものを除く) 4 地球温暖化防止活動推進員(推進員・表彰・地域協議会等)に関する事 5 家庭部門の温暖化対策(うちエコ診断等)に関する事 6 住宅用創エネルギー・省エネルギー設備設置特別融資事業に関する事 7 地域循環共生圏の創出に関する事 8 ひょうごスマートライフマイスターに関する事 9 GHG(温室効果ガス)算定支援に関する事	10名	副課長兼 温暖化対策班長 加茂 慎
計画担当 (74678, 74679, 74680, 74681) (362-3273)	10 兵庫県地球温暖化対策推進計画の推進に関する事 11 温室効果ガス排出量の推計に関する事 12 再生可能エネルギーの導入促進方策に関する事(他課の所掌に属するもの及び他の項目で規定するものを除く) 13 地域創生!再エネ発掘プロジェクトに関する事+ 14 ひょうご再エネ導入加速化プロジェクトに関する事 15 再生可能エネルギー導入事例集に関する事 16 地球温暖化による影響への適応(兵庫県気候変動適応センターの運営等)に関する事 17 CO2削減協力事業に関する事 18 CO2削減相殺制度(ひょうごカーボン・オフセット)の推進に関する事 19 関西広域連合に関する事(広域クレジットの検討、再生可能エネルギー導入促進) 20 市町の実行計画の推進に関する事 21 兵庫県・市町地球温暖化対策連絡会等の会議開催に関する事 22 人材育成事業に関する事 23 ヒートアイランドに係るモニタリングに関する事 24 中小事業者への脱炭素化促進事業に関する事		主幹(計画担当) 山内 久美子

### 自然鳥獣共生課分掌事務

	課長	相浦輝之	74685	362-4117
	鳥獣対策官	中川幸二	74686	362-9092
	副課長	志摩武士	74687	362-3389
	副課長	祖父江宗利	74694	362-9084

班名 (電話)	分掌事務	職員数 (含班長)	担当
自然環境保 全班 (74688, 74689 74690, 74703) (362-3389)	1 環境審議会自然環境部会に関する事 2 自然保護指導員に関する事 3 自然環境の保全と再生に関する事 4 生物多様性の保全に関する事 5 希少野生生物の保護(レッドリストの改訂等)に関する事 6 外来生物対策の推進に関する事 7 上山高原エコミュージアムの推進に関する事 8 外来生物に関する事 9 文書及び公印の管守に関する事 10 課の予算・経理・庶務に関する事	8 名	副課長兼自然 環境保全班長 志摩 武士
自然公園担当 (74691, 74692 74693) (362-3318)	11 自然公園等の施設整備に関する事(直轄施行委任事業を含む) 12 自然公園施設及び近畿自然歩道の維持管理に関する事 13 自然公園施設等の利用に関する事 14 自然公園法及び県立自然公園条例の施行に関する事 15 国立公園六甲山に係る委員会等の設置・運営に関する事 16 環境の保全と創造に関する条例の施行(自然環境保全地域等の指定及び管理を除く)に関する事 17 大河内高原(砥峰高原・峰山高原)の保全・管理に関する事 18 国立公園の美化清掃に関する事		主幹(自然公園 担当) 山本 慎一
鳥獣保護管 理班 (74695, 74696 74697, 74702) (362-9084)	1 狩猟免許に関する事 2 狩猟者登録に関する事 3 野生鳥獣の捕獲許可に関する事 4 狩猟取締指導及び違反処理に関する事 5 (一社)兵庫県猟友会に関する事 6 指定管理鳥獣捕獲等事業に関する事 7 兵庫県立総合射撃場(仮称)の整備に関する事	4 名	副課長兼鳥獣 保護管理班長 祖父江 宗利

班名 (電話)	分掌事務	職員数 (含班長)	担当
被害対策班 (74698, 74699 74700, 74701) (362-3463)	<p>8 鳥獣保護区等の地区指定に関する事  9 鳥獣保護管理員に関する事  10 鳥獣愛護及び傷病野生鳥獣の救護等に関する事  11 第13次鳥獣保護管理事業計画及び第2種特定鳥獣管理計画(年次別事業実施計画含む)に関する事  12 環境審議会鳥獣部会、野生動物保護管理運営協議会に関する事  13 森林動物研究センターとの業務の調整に関する事  14 鳥獣統計に関する事</p> <p>1 認定鳥獣捕獲等事業者制度に関する事  2 狩猟後継者確保・育成に関する事  3 シカ捕獲等被害対策事業に関する事  4 イノシシ捕獲等被害対策事業に関する事  5 サル捕獲等被害対策事業に関する事  6 カワウ捕獲等被害対策事業に関する事  7 シカ丸ごと1頭活用大作戦及び適正処理に関する事  8 クマの出没、狩猟対策、ツキノワグマ広域保護管理協議会に関する事(管理計画、出没マニュアル作成含む)  9 鳥獣被害防止総合対策事業に関する事  10 市町振興支援交付金(鳥獣関連事業)に関する事  11 集落の被害対策強化に関する事  ・ 獣害対策チームの運営  ・ 被害集落自立サポート事業  12 野生動物由来感染症(鳥インフルエンザ・豚熱)に関する事(他課の所掌に属するものを除く)  13 鳥獣統計に関する事(農林業被害の取りまとめ含む)  14 森林動物研究センターの運営・研修事業に関する事</p>	4名	被害対策班長 石川 修司

## 水 大 気 課 分 掌 事 務

課 長	高 原 伸 兒	74705	362-3282
豊かな海再生推進官	内 田 径 孝	74707	362-3307
環境影響評価官	飯 野 博 夫	74706	362-3275
副 課 長	永 田 展 之	74708	362-3286
副 課 長	藤 岡 弘 樹	74716	362-3290

班 名 (電 話)	分 掌 事 務	職 員 数 (含 班 長)	担 当
大気班 (74709, 74710 74711, 74712 74713, 74714 74715, 74734 3387) (362-3285, 362-3287)	1 大気汚染防止法の施行に関する事 2 フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律の施行に関する事 3 ダイオキシン類対策特別措置法の施行に関する事(他班の所掌に属するものを除く) 4 騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法の施行に関する事 5 環境の保全と創造に関する条例の施行に関する事(大気、騒音、振動、悪臭に限る) 6 環境基本法の規定に基づく騒音、振動、悪臭に係る環境基準の地域類型のあてはめに関する事 7 環境保全協定に関する事(大気に係るものに限る) 8 環境影響評価の技術審査に関する事(大気、騒音、振動、悪臭に係るものに限る) 9 広域大気汚染緊急時対策に関する事 10 窒素酸化物低減のための季節対策に関する事 11 大気汚染に係る調査及び苦情に関する事 12 大気管理システムに関する事 13 有害大気汚染物質等に係る調査対策に関する事 14 環境放射能水準調査に関する事(他班の所掌に属するものを除く) 15 兵庫県フロン回収・処理推進協議会に関する事 16 交通公害対策の企画及び調整に関する事 17 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法の施行に関する事 18 環境の保全と創造に関する条例に基づくディーゼル自動車等運行規制に関する事 19 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律の施行に関する事 20 次世代自動車等の導入支援及び普及啓発に関する事 21 水素ステーションの設置支援に関する事 22 アイドリングストップ等エコドライブの推進等に関する事 23 大阪国際空港等に係る関係機関との連携及び航空機騒音の測定調査に関する事 24 新幹線に係る関係機関との連携及び騒音・振動の測定調査に関する事 25 環境審議会大気環境部会に関する事(温暖化対策に関するものを除く)	7 名	大気班長 松岡 智郁

班 名 (電 話)	分 掌 事 務	職 員 数 (含 班 長)	担 当
水質班 (74717, 74718 74719, 74720 3388) (362-3290, 362-3291)  産業排水・土 壌担当 (74721, 74722 74723, 74724 74725) (362-9094)	26 文書及び公印の管守に関する事 27 課の予算・経理・庶務に関する事  1 水質汚濁防止法の施行に関する事 2 瀬戸内海環境保全特別措置法の施行に関する事 3 ダイオキシン類対策特別措置法の施行に関する事(大気を除く常時監視に限る) 4 土壌汚染対策法の施行に関する事 5 特定水道水利障害の防止のための水道水源水域の水質の保全に関する特別措置法の施行に関する事 6 環境基本法の規定に基づく水質に係る環境基準の水域類型のあてはめに関する事 7 環境の保全と創造に関する条例の施行に関する事(水質に係るものに限る) 8 環境保全協定に関する事(水質に係るものに限る) 9 環境影響評価の技術審査に関する事(水質に係るものに限る) 10 瀬戸内海の保全・再生に関する事 11 瀬戸内海の環境保全に関する兵庫県計画に関する事 12 水質総量削減計画に関する事 13 兵庫県栄養塩類管理計画に関する事(栄養塩類増加措置実施者に係るものに限る) 14 公共用水域及び地下水の水質測定計画の作成及び常時監視に関する事 15 生活排水対策に関する事 16 水質管理システムに関する事 17 公共用水域における水質汚濁事故時の連絡に関する事 18 地下水及び土壌の汚染浄化に関する事 19 地盤環境に関する事 20 排出基準未設定化学物質に関する事 21 環境放射能水準調査に関する事(水質等に係るものに限る) 22 水質調査船の運航調整に関する事 23 環境審議会水環境部会に関する事 24 事業場に係る苦情に関する事(水質に係るものに限る) 25 瀬戸内海環境保全知事・市長会議に関する事 26 ひょうご環境保全連絡会に関する事 27 (公社)瀬戸内海環境保全協会に関する事 28 (公財)国際エメックスセンターに関する事 29 (特非)瀬戸内海研究会議に関する事 30 河川協議会等に関する事 31 大阪湾環境保全協議会に関する事	10 名	副課長兼水質 班長 藤岡 弘樹  主幹(産業排水・ 土壌担当) 大角 宗久

班 名 (電 話)	分 掌 事 務	職 員 数 (含 班 長)	担 当
里海再生班 (74726, 74727 74728) (362-3468)	1 豊かで美しい海の再生に関する事 2 兵庫県栄養塩類管理計画に関する事(栄養塩類増加措置実施者に係るものは除く) 3 栄養塩類管理計画の県民理解促進に関する事 4 栄養塩類管理計画に関する調査に関する事 5 ひょうご豊かな海づくり県民会議に関する事 6 ひょうご豊かな海づくり推進大会の開催に関する事 7 豊かな海づくりに関する取組周知・広報に関する事 8 豊かな海づくりに関する県民や団体の取組の支援に関する事 9 豊かな海づくりに関する啓発活動の実施に関する事	3 名	里海再生班長 山邊 健一
審査情報班 (74729, 74730 74731, 74732 74733) (362-9086, 362-3276)	1 環境情報に係る企画及び総合調整に関する事 2 環境情報総合システムに関する事 3 ホームページ「ひょうごの環境」に係る環境情報の収集及び提供に関する事 4 大気汚染状況の常時監視に関する事 5 大気汚染常時監視網整備計画に関する事 6 大気汚染緊急時に係る大気汚染状況の周知及び協力要請に関する事 7 大気汚染気象予測に関する事 8 特定化学物質の環境への排出量把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR制度)の施行及び集計・公表に関する事 9 化学物質の管理等の事業者に対する技術的助言及び普及啓発に関する事 10 環境影響評価に関する条例及び環境影響評価法の施行に関する事 11 環境影響評価審査会に関する事 12 環境影響評価の審査に関する事 13 環境影響評価に関する事後監視調査に関する事 14 小規模太陽光発電所に関する自然環境調査指針に関する事 15 公有水面(海面)埋立事業に係る内部審査実施要領に関する事 16 その他開発事業等による環境影響評価に関する事 17 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律の施行に関する事 18 環境保全協定に関する事 19 公害機動隊に関する事	5 名	審査情報班長 藤原 拓洋

## 環境整備課分掌事務

課	長	吉村陽	74735	362-3277
副課	長	野竿拓哉	74736	362-9088
副課	長	満月卓	74737	362-3279

班名 (電話)	分掌事務	職員数 (含班長)	担当
資源循環班 (74738, 74739 74740, 74741 74742, 74750 74751) (362-3278, 362-3279, 362-9085)	1 循環型社会推進に関する企画及び調整に関すること 2 廃棄物処理計画の推進に関すること 3 ごみ処理広域化計画の推進に関すること 4 災害廃棄物処理対策の推進に関すること 5 循環型社会形成推進交付金等に関すること 6 一般廃棄物処理の指導及び産業廃棄物排出事業者の指導に関すること 7 浄化槽法の施行に関すること(浄化槽の構造に関するものを除く) 8 容器包装リサイクル法の施行に関すること 9 海岸漂着物処理推進法の施行に関すること 10 小型家電リサイクル法の施行に関すること 11 ひょうごプラスチック循環コンソーシアム事業等に関すること 12 大阪湾広域臨海環境整備センターに関すること 13 環境審議会廃棄物部会に関すること 14 (一社)兵庫県産業資源循環協会に関すること 15 (一社)兵庫県水質保全センターに関すること 16 ひょうごエコタウン構想の推進に関すること 17 文書及び公印の管守に関すること 18 課の予算・経理・庶務に関すること	8名	副課長兼資源 循環班長 満月卓
廃棄物規制班 (74743, 74744 74745, 74746) (362-3281, 362-9089)	1 不法投棄の防止施策に関すること 2 不法投棄された廃棄物に係る原状回復等に関すること 3 産業廃棄物等不適正処理防止条例の施行に関すること 4 産業廃棄物処分業の許可及び指導監督に関すること 5 産業廃棄物処理施設の設置許可に関すること 6 産業廃棄物紛争予防調整条例の施行に関すること 7 再生事業者の登録に関すること 8 自動車リサイクル法の施行に関すること 9 建設リサイクル法の施行に関すること(再資源化等の実施に係るものに限る) 10 PCB特別措置法の施行に関すること 11 再資源化事業等高度化法に関すること	4名	廃棄物規制班長 土居秀徳

監視班 (74747, 74748 74749) (362-9090)	12 環境審議会産廃紛争予防・調整部会に関する事 1 不法投棄等不適正処理対策に関する事 2 廃棄物の不適正処理に係る捜査関係の調整に関する事	3 名	監視班長 大川 祐弘
--	---	-----	---------------

## 環境部幹部職員名簿

R7.4.1現在

環境部長		福山 雅章	内3207	078-362-9891
環境部次長		久野 洋貴	内3204	078-362-3235
環境部次長		上西 琴子	内3318	078-362-9897
部参事	(ひょうご環境創造協会専務理事兼経営企画部長)	芳中 正明		078-735-2737
部参事	(大阪湾広域臨海環境整備センター常務理事)	松永 康司		06-6204-1721
部参事	(大阪湾広域臨海環境整備センター常務理事)	馬場 康弘		06-6204-1721

所属	課長・室長・課参事	副課長・班長・主幹		
総務課	課長 岡野 揮代美 内3321 078-362-3271	副課長	女鹿 貴史	内74654 078-362-9892
		総務班長	女鹿副課長兼務	
		企画班長	渡辺 佳奈子	内74658 078-362-3272
		経理班長	正垣 聡	内74661 078-362-3402
環境政策課	課長 森田 直子 内74667 078-362-9895 温暖化対策官 井川 あゆみ 内74666 078-362-3288	副課長	江本 慶子	内74667 078-362-4421
		副課長	加茂 慎	内74668 078-362-9093
		政策班長	江本副課長兼務	
		主幹(学習・活動支援担当)	中安 祐介	内74671 078-362-3156
自然鳥獣共生課	課長 相浦 輝之 内74685 078-362-4117 鳥獣対策官 中川 幸二 内74686 078-362-9092	副課長	志摩 武士	内74687 078-362-3389
		副課長	祖父江 宗利	内74694 078-362-9084
		自然環境保全班長	志摩副課長兼務	
		主幹(自然公園担当)	山本 慎一	内74691 078-362-3318
水大気課	課長 高原 伸兒 内74705 078-362-3282 豊かな海再生推進官 内田 径孝 内74707 078-362-3307 環境影響評価官 飯野 博夫 内74706 078-362-3275	副課長	永田 展之	内74708 078-362-3286
		副課長	藤岡 弘樹	内74716 078-362-3290
		大気班長	松岡 智郁	内74709 078-362-3285
		水質班長	藤岡副課長兼務	
環境整備課	課長 吉村 陽 内74735 078-362-3277	主幹(産業排水・土壌担当)	大角 宗久	内74721 078-362-9094
		里海再生班長	山邊 健一	内74726 078-362-3468
		審査情報班長	藤原 拓洋	内74729 078-362-9086
		副課長	野竿 拓哉	内74736 078-362-9088
環境整備課	副課長	資源循環班長	満月 卓	内74737 078-362-3279
		廃棄物規制班長	満月副課長兼務	
		監視班長	土居 秀徳	内74743 078-362-9089
			大川 祐弘	内74747 078-362-9090

## 環境部所管地方機関

所属名	所長等	副所長・部長・研究主幹等	課長等
森林動物研究センター	次長兼業務部長 嶋津 悟 0795-80-5500	業務部副部長 野口 和人 0795-80-5500 所長補佐兼総務課長 原田 正直 0795-80-5500	総務課長 (原田所長補佐兼務) 森林動物専門員 吉崎 正美 森林動物専門員 河野 賢治 森林動物専門員 尾畑 俊彦 森林動物専門員 石井 淳

県民局・県民センター環境課

所属	所長等	副所長・室長補佐等	課長等
神戸・県民躍動室	室長 正垣 雅士		県民課県民担当班長 石井 康之
阪神北・県民躍動室	室長 永園 郁美	室長補佐 岡田 圭司	環境課長 (岡田室長補佐兼務)
	環境参事 岸本 和史		
東播磨・県民躍動室	室長 藤原 正崇		環境課長 坂本 美徳
	環境参事 加藤 朋子		
北播磨・県民躍動室	室長 多田 敦生		環境課長 常友 大資
	環境参事 小坂 和也		
西播磨・県民躍動室	室長 浪花 正典		環境課長 松林 雅之
	環境参事 津田 稔		
但馬・県民躍動室	室長 植田 勝明	室長補佐 藤原 英隆	環境課長 (藤原室長補佐兼務)
	県民協働参事 永井 秀明		
丹波・県民躍動室	参事 宇瀧 広子	室長補佐 石倉 洋介	環境課長 (石倉室長補佐兼務)
淡路・県民躍動室	室長 由良 一成		環境課長 尾崎 成
	環境参事 山根 隆二郎		

他部局等技術職

所属	課長・参事	副課長等	班長・主幹・地方課長等
環境省派遣			環境再生・資源循環局廃棄物規制課課長補佐 中坪 良平

## 関係団体派遣（現職）

所属	県参事・部参事	課参事・副課長	主幹
ひょうご環境創造協会	部参事 芳中 正明 (専務理事兼経営企画部長)	総務課副課長 谷山 雄司 (経営企画部次長兼経営課長)	総務課主幹 小倉 健 (経営企画部総務課長) 総務課主幹 吉岡 達也 (経営企画部経理課長)
[兵庫県環境研究センター]		課参事 吉田 光方子 (兵庫県環境研究センター長兼大気環境科長) 総務課主席研究員兼副課長 松村 千里 (主席研究員兼水環境科長) 総務課主席研究員兼研究主幹 宮崎 一 (主席研究員兼水環境科研究主幹) ※国際エメックスセンター兼務	
地球環境戦略研究機関 [関西研究センター]		総務課副課長 森本 佳宏 (主任研究員)	総務課主幹 石津 雅之 (総務課長)(再任用)
[APNセンター]		総務課副課長 渋谷 洋明 (副センター長兼関西研究センター主任アドバイザー)	総務課主幹 小田 真美 (総務課長)
国際エメックスセンター		総務課副課長 松浦 正明 (事務局長兼瀬戸内海環境保全協会事務局長) 総務課主席研究員兼研究主幹 宮崎 一 ※ひょうご環境創造協会兼務	総務課主幹 椿野 泰三 (総務課長兼瀬戸内海環境保全協会総務課長)
大阪湾広域臨海環境整備センター	部参事 松永 康司 (常務理事) 部参事 馬場 康弘 (常務理事)	総務課参事 宮永 和幸 (参事兼企画課長) 総務課副課長 馬場 敏郎 (環境課長)	総務課主幹 田中 一弘 (総務課課長補佐) 総務課主幹 山口 一彦 (企画課課長補佐) 総務課主幹 平野 智也 (環境課課長補佐兼兵庫建設事務所建設課課長補佐)
[兵庫建設事務所]		総務課参事 山内 斉 (所長) 総務課副課長 横山 寿信 (業務課長)	総務課主幹 鎌田 哲郎 (建設課課長補佐兼工務課課長補佐)